

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒラキ電計機けいはんな事業所	階数	地上 2F
建設地	京都府相楽郡精華町光台二丁目1-4	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年9月13日
敷地面積	15,350 m ²	作成者	(03896-23)今西良一
建築面積	1,859 m ²	確認日	2018年9月19日
延床面積	2,240 m ²	確認者	(株)イノベイト



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 370%
 ③上記②以外の 126%
 ④上記+ 126%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 1.6	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。	太陽光発電設備を導入して、自然エネルギーの活用等に配慮している。
工場用途のため、評価対象外	耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。将来の用途変更可能性などを考慮している。
高効率機器の採用で設備システムの高効率化を図っている。	自然林の保存や新規の植栽により、生物環境に十分に配慮している。
	LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、水資源の保護に努めている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される